

C01F	金属ベリリウム，マグネシウム，アルミニウム，カルシウム，ストロンチウム，バリウム，ラジウム，トリウム化合物または希土類金属化合物（金属水素化合物 C 0 1 B 6 / 0 0 ; ハロゲンのオキシ酸塩 C 0 1 B 1 1 / 0 0 ; 過酸化物，ペルオキシ酸塩 C 0 1 B 1 5 / 0 0 ; マグネシウム，カルシウム，ストロンチウムまたはバリウムの硫化物または多硫化物 C 0 1 B 1 7 / 4 2 ; チオ硫酸塩，亜ジチオン酸塩，多チオン酸塩 C 0 1 B 1 7 / 6 4 ; セレンまたはテルル含有化合物 C 0 1 B 1 9 / 0 0 ; 金属と窒素から成る二化合物 C 0 1 B 2 1 / 0 6 ; アジ化物 C 0 1 B 2 1 / 0 8 ; 金属アミド C 0 1 B 2 1 / 0 9 2 ; 亜硝酸塩 C 0 1 B 2 1 / 5 0 ; リン化物 C 0 1 B 2 5 / 0 8 ; リンのオキシ酸塩 C 0 1 B 2 5 / 1 6 ; 炭化物 C 0 1 B 3 2 / 9 0 ; けい素含有化合物 C 0 1 B 3 3 / 0 0 ; ほう素含有化合物 C 0 1 B 3 5 / 0 0 ; 分子ふるい特性を有するが塩基交換特性を有しない化合物 C 0 1 B 3 7 / 0 0 ; 分子ふるい特性と塩基交換特性を有する化合物，例．結晶性ゼオライト C 0 1 B 3 9 / 0 0 ; シアン化物 C 0 1 C 3 / 0 8 ; シアン酸塩 C 0 1 C 3 / 1 4 ; シアナミドの塩 C 0 1 C 3 / 1 6 ; チオシアン酸塩 C 0 1 C 3 / 2 0 ; 二酸化炭素以外の元素または無機化合物を製造するための発酵または酵素を使用した処理 C 1 2 P 3 / 0 0 ; 混合物からの金属化合物，例．鉱石，すなわち単体金属を取得するための冶金的方法における中間体化合物 C 2 2 B ; 電気分解または電気泳動による非金属元素または無機化合物の製造 C 2 5 B)	5/12	・ ・ ・還元をともしないまたは還元をともしない硫酸マグネシウムの熱分解によるもの
		5/14	・ 水酸化マグネシウム
		5/16	・ ・ マグネシア，例．か焼ドロマイト，の水またはマグネシウムを含有しない溶液による処理
		5/20	・ ・ アンモニアを用いたマグネシウム塩の溶液沈殿によるもの
		5/22	・ ・ アルカリ金属水酸化物，アルカリ土類金属酸化物または水酸化物とマグネシウム化合物からのもの
		5/24	・ 炭酸マグネシウム
		5/26	・ マグネシウムのハロゲン化物
		5/28	・ ・ ふっ化物
		5/30	・ ・ 塩化物
		5/32	・ ・ ・ マグネシウム化合物の塩素化による無水塩化マグネシウムの製造
		5/34	・ ・ ・ 結晶水を有する塩化マグネシウムの脱水
		5/36	・ ・ 臭化物
		5/38	・ 硝酸マグネシウム
		5/40	・ 硫酸マグネシウム（マグネシウムとナトリウム又はカリウムとの硫酸複塩 C 0 1 D 5 / 1 2 , 他のアルカリ金属とのもの C 0 1 D 1 5 / 0 6 , C 0 1 D 1 7 / 0 0) [3]
		5/42	・ 亜硫酸マグネシウム
		7/00	アルミニウム化合物 [2 0 2 2 . 0 1]
		7/02	・ 酸化アルミニウム；水酸化アルミニウム；アルミン酸塩 [2 0 2 2 . 0 1]
		7/021	・ ・ 酸化物または水酸化物の後処理 [2 0 2 2 . 0 1]
		7/022	・ ・ ・ 分級 [2 0 2 2 . 0 1]
		7/023	・ ・ ・ 粉碎，解砕または粉末化 [2 0 2 2 . 0 1]
		7/025	・ ・ ・ 造粒または凝集化 [2 0 2 2 . 0 1]
		7/026	・ ・ ・ 分散液の形成または安定化 [2 0 2 2 . 0 1]
		7/027	・ ・ ・ 溶融または気化を伴う処理 [2 0 2 2 . 0 1]
		7/028	・ ・ ベータアルミナ [2 0 2 2 . 0 1]
		7/04	・ ・ アルカリ金属アルミン酸塩の製造；それからの酸化アルミニウムまたは水酸化アルミニウム（C 0 1 F 7 / 0 2 8 が優先）[2 0 2 2 . 0 1]
		7/043	・ ・ ・ アルミン酸リチウム [2 0 2 2 . 0 1]
		7/046	・ ・ ・ アルミン酸塩の安定化 [2 0 2 2 . 0 1]
		7/06	・ ・ ・ アルカリ水酸化物でアルミニウム鉱石または廃棄物様の原料を処理することによるもの，例．パイヤー法によるボー
注			
(1)	サブクラス C 0 1 B から C 0 1 G に適用するラストプレイス優先ルールを規定するクラス C 0 1 に続くクラス注 (1) に注意すること [8]		
(2)	化合物の治療活性は，サブクラス A 6 1 P にさらに分類する [7]		
1/00	ベリリウム，マグネシウム，アルミニウム，カルシウム，ストロンチウム，バリウム，ラジウム，トリウム化合物または希土類金属化合物の製造方法一般		
3/00	ベリリウム化合物		
3/02	・ 酸化物；水酸化物 [3]		
5/00	マグネシウム化合物		
5/02	・ マグネシア		
5/04	・ ・ 金属マグネシウムの酸化によるもの		
5/06	・ ・ マグネシウム化合物の熱分解によるもの（マグネサイトまたはドロマイトのか焼 C 0 4 B 2 / 1 0 ）		
5/08	・ ・ ・ 水酸化マグネシウムのか焼によるもの		
5/10	・ ・ ・ 塩化マグネシウムと水蒸気との熱分解によるもの		

	キサイトの浸出（得られたアルミン酸溶液からの酸化アルミニウムまたは水酸化アルミニウムの取得 C 0 1 F 7 / 1 4 ） [2 0 2 2 . 0 1]		2 2 . 0 1]
7/0606	・ ・ ・ ・ 再生された廃液からのアルカリ水酸化物溶液の製造 [2 0 2 2 . 0 1]	7/144	・ ・ ・ ・ 冷却により沈殿させた，アルミン酸水溶液からのもの，例．バイヤー法の一部として [2 0 2 2 . 0 1]
7/0613	・ ・ ・ ・ 鉱石の前処理，例．粉碎 [2 0 2 2 . 0 1]	7/145	・ ・ ・ ・ 水酸化アルミニウムの種子以外の，結晶成長改質剤の使用に特徴があるもの [2 0 2 2 . 0 1]
7/062	・ ・ ・ ・ 蒸解 [2 0 2 2 . 0 1]	7/147	・ ・ ・ ・ 沈殿のための装置 [2 0 2 2 . 0 1]
7/0626	・ ・ ・ ・ 管状体蒸解のみを利用する方法 [2 0 2 2 . 0 1]	7/148	・ ・ ・ ・ 得られた水酸化物の分離，例．ろ過または脱水 [2 0 2 2 . 0 1]
7/0633	・ ・ ・ ・ 添加剤の使用に特徴があるもの [2 0 2 2 . 0 1]	7/16	・ ・ アルカリ土類金属アルミン酸塩またはアルミン酸マグネシウムの製造；それからの酸化アルミニウムまたは水酸化アルミニウム（C 0 1 F 7 / 0 2 8 が優先） [2 0 2 2 . 0 1]
7/064	・ ・ ・ ・ 蒸解のための装置，例．蒸解容器または熱交換器 [2 0 2 2 . 0 1]	7/162	・ ・ ・ アルミン酸マグネシウム [2 0 2 2 . 0 1]
7/0646	・ ・ ・ ・ 不溶性残渣の分離，例．赤泥 [2 0 2 2 . 0 1]	7/164	・ ・ ・ アルミン酸カルシウム [2 0 2 2 . 0 1]
7/0653	・ ・ ・ ・ スラリーに凝集剤を添加することに特徴があるもの（アルミン酸塩溶液の最終澄清化 C 0 1 F 7 / 4 7 ） [2 0 2 2 . 0 1]	7/166	・ ・ ・ アルミン酸ストロンチウム [2 0 2 2 . 0 1]
7/066	・ ・ ・ ・ 分離された残渣の処理 [2 0 2 2 . 0 1]	7/168	・ ・ ・ アルミン酸バリウム [2 0 2 2 . 0 1]
7/0666	・ ・ ・ ・ プロセス制御または調整 [2 0 2 2 . 0 1]	7/18	・ ・ ・ アルカリ土類金属アルミン酸塩からの酸化アルミニウムまたは水酸化アルミニウム [2 0 0 6 . 0 1]
7/0673	・ ・ ・ ・ りん酸塩含有鉱石からのもの [2 0 2 2 . 0 1]	7/20	・ ・ 酸または塩を使用した，アルミニウム鉱石からの酸化アルミニウムまたは水酸化アルミニウムの製造 [2 0 0 6 . 0 1]
7/068	・ ・ ・ ・ 炭酸塩含有鉱石からのもの，例．ドーナイト [2 0 2 2 . 0 1]	7/22	・ ・ ・ ハロゲン化物またはハロゲン化水素酸を用いるもの [2 0 0 6 . 0 1]
7/0686	・ ・ ・ ・ 硫酸塩含有鉱石からのもの，例．明ばん石 [2 0 2 2 . 0 1]	7/24	・ ・ ・ 硝酸または窒素酸化物を用いるもの [2 0 0 6 . 0 1]
7/0693	・ ・ ・ ・ 廃棄物様の原料からのもの，例．フライアッシュまたはバイヤー焼ダスト [2 0 2 2 . 0 1]	7/26	・ ・ ・ 硫酸または硫酸塩を用いるもの
7/08	・ ・ ・ 炭酸ナトリウムでアルミニウム鉱石を処理することによるもの，例．焼結法（C 0 1 F 7 / 0 6 1 3，C 0 1 F 7 / 0 6 6 が優先） [2 0 2 2 . 0 1]	7/28	・ ・ ・ 亜硫酸を用いるもの
7/085	・ ・ ・ ・ 石灰焼結法によるもの [2 0 2 2 . 0 1]	7/30	・ ・ アルミニウム化合物の熱分解または加水分解または酸化による，酸化アルミニウムまたは水酸化アルミニウムの製造 [2 0 2 2 . 0 1]
7/10	・ ・ ・ アルカリ金属硫酸塩および還元剤でアルミニウム鉱石を処理することによるもの [2 0 0 6 . 0 1]	7/302	・ ・ ・ 気相中での気体状アルミニウム化合物の加水分解または酸化 [2 0 2 2 . 0 1]
7/12	・ ・ ・ アルカリ土類金属アルミン酸塩からのアルカリ金属アルミン酸塩 [2 0 0 6 . 0 1]	7/304	・ ・ ・ ・ 有機アルミニウム化合物の [2 0 2 2 . 0 1]
7/14	・ ・ ・ アルカリ金属アルミン酸塩からの酸化アルミニウムまたは水酸化アルミニウム [2 0 2 2 . 0 1]	7/306	・ ・ ・ 水和塩化物の熱分解，例．三塩化アルミニウム六水和物 [2 0 2 2 . 0 1]
7/141	・ ・ ・ ・ 酸性化剤を用いて中和された，アルミン酸水溶液からのもの [2 0 2 2 . 0 1]	7/308	・ ・ ・ 硝酸塩の熱分解 [2 0 2 2 . 0 1]
7/142	・ ・ ・ ・ ・ 二酸化炭素を用いるもの [2 0	7/32	・ ・ ・ 硫酸錯塩を含む硫酸塩の熱分解，例．明ばん [2 0 0 6 . 0 1]
		7/34	・ ・ アルミニウム塩含有溶液からの沈殿による水酸化アルミニウムの製造 [2 0 0 6 . 0 1]

7/36	・ ・ ・ 有機アルミニウム塩からのもの	7/58	・ ・ ・ 無水塩化アルミニウムの製造
7/38	・ ・ アルミニウム鉱石の熱還元による酸化アルミニウムの製造 [2 0 0 6 . 0 1]	7/60	・ ・ ・ ・ 酸素含有アルミニウム化合物からのもの
7/40	・ ・ ・ 硫化アルミニウムの存在下でのもの	7/62	・ ・ ・ 精製
7/42	・ ・ 金属アルミニウムからの酸化アルミニウムまたは水酸化アルミニウムの製造, 例 . 酸化によるもの [2 0 2 2 . 0 1]	7/64	・ ・ 臭化物 (ふっ素を含有するもの C 0 1 F 7 / 5 2) [3]
7/422	・ ・ ・ 高温で気体状酸化剤を用いた酸化によるもの [2 0 2 2 . 0 1]	7/66	・ アルミニウム以外に, 他の陽イオンを含有または含有しない硝酸塩 [2 0 0 6 . 0 1]
7/424	・ ・ ・ ・ プラズマを使用するもの [2 0 2 2 . 0 1]	7/68	・ いおうを含有するアルミニウム化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
7/426	・ ・ ・ 低温で固体アルミニウムに機械的エネルギーを加えることによるもの [2 0 2 2 . 0 1]	7/70	・ ・ 硫化物
7/428	・ ・ ・ 水溶液中での酸化によるもの [2 0 2 2 . 0 1]	7/72	・ ・ 亜硫酸塩
7/44	・ アルミニウムの酸化物または水酸化物の脱水, すなわち, 水の損失を伴うある構造から別の構造へのすべての変換 [2 0 2 2 . 0 1]	7/74	・ ・ 硫酸塩 [2 0 2 2 . 0 1]
7/441	・ ・ ・ 焼成によるもの [2 0 2 2 . 0 1]	7/741	・ ・ ・ 元素状アルミニウムまたは元素状アルミニウム含有材料からの製造, 例 . 箔またはドロス [2 0 2 2 . 0 1]
7/442	・ ・ ・ ・ 焼成添加剤の存在下でのもの [2 0 2 2 . 0 1]	7/743	・ ・ ・ けい素アルミニウム材料からの製造, 例 . 粘土またはボーキサイト [2 0 2 2 . 0 1]
7/444	・ ・ ・ ・ そのための装置 [2 0 2 2 . 0 1]	7/745	・ ・ ・ 明ばんからの製造, 例 . 明ばん石 [2 0 2 2 . 0 1]
7/445	・ ・ ・ ・ 流動床を用いるもの [2 0 2 2 . 0 1]	7/746	・ ・ ・ 後処理, 例 . 脱水または安定化 [2 0 2 2 . 0 1]
7/447	・ ・ ・ 湿式法によるもの [2 0 2 2 . 0 1]	7/748	・ ・ ・ ・ 精製 [2 0 2 2 . 0 1]
7/448	・ ・ ・ ・ 超大気圧を用いるもの, 例 . ギブサイトのペーマイトへの水熱変換 [2 0 2 2 . 0 1]	7/76	・ ・ ・ 複塩, すなわち, アルミニウムイオンおよび硫酸イオン以外に, 他の陽イオンのみを含有する化合物, 例 . 明ばん [2 0 2 2 . 0 1]
7/46	・ ・ 酸化アルミニウム, 水酸化アルミニウムまたはアルミン酸塩の精製 (C 0 1 F 7 / 0 2 8 が優先) [2 0 0 6 . 0 1]	7/762	・ ・ ・ ・ 硫酸アルミニウムアンモニウムまたはアルカリ金属アルミニウム硫酸塩 [2 0 2 2 . 0 1]
7/47	・ ・ ・ アルミン酸塩の精製, 例 . パイヤー法溶液からのけい素, 鉄, ガリウムの化合物または有機化合物の除去 [2 0 2 2 . 0 1]	7/765	・ ・ ・ ・ ・ 硫酸アルミニウムアンモニウム [2 0 2 2 . 0 1]
7/473	・ ・ ・ ・ 有機化合物の除去, 例 . しゅう酸ナトリウム [2 0 2 2 . 0 1]	7/767	・ ・ ・ ・ アルカリ土類金属アルミニウム硫酸塩 [2 0 2 2 . 0 1]
7/476	・ ・ ・ ・ ・ 酸化によるもの [2 0 2 2 . 0 1]	7/77	・ アルミニウム炭酸塩 [2 0 2 2 . 0 1]
7/48	・ アルミニウム以外に, 他の陽イオンを含有または含有しないハロゲン化物 [2 0 0 6 . 0 1]	7/78	・ アルミニウムを含有し, 酸素または水素の含有にかかわらず, 2 種以上の他の元素を含有する化合物 (アルミン酸塩 C 0 1 F 7 / 0 2 ; アルミニウム, ふっ素およびアルカリ金属またはアルカリ土類金属を含有する化合物 C 0 1 F 7 / 5 4 ; アルミニウム以外に, 他の陽イオンを含有する硝酸塩 C 0 1 F 7 / 6 6 ; アルミニウム以外に, 他の陽イオンを含有する硫化物, 亜硫酸塩または硫酸塩 C 0 1 F 7 / 7 0 - C 0 1 F 7 / 7 4) [2 0 2 2 . 0 1]
7/50	・ ・ ふっ化物	7/782	・ ・ 炭酸イオンを含むもの, 例 . ドーソナイト [2 0 2 2 . 0 1]
7/52	・ ・ ・ ふっ素とそれ以外のハロゲン族元素とを含有する複化合物 [2 0 0 6 . 0 1]	7/784	・ ・ 層状複水酸化物, 例 . 層間陰イオンとして硝酸イオン, 硫酸イオンまたは炭酸
7/54	・ ・ ・ アルミニウムとアルカリ金属またはアルカリ土類金属とを含有する複化合物		
7/56	・ ・ 塩化物 (ふっ素を含有するもの C 0 1 F 7 / 5 2) [2 0 2 2 . 0 1]		
7/57	・ ・ ・ 塩基性塩化アルミニウム, 例 . ポリ塩化アルミニウム [2 0 2 2 . 0 1]		

C 0 1 F

	イオンを含有するもの[2 0 2 2 . 0 1]
7/785	・ ・ ・ ハイドロタルサイト[2 0 2 2 . 0 1]
7/786	・ ・ アルミニウム以外に、陰イオンのみを含有するもの、例、 $Al[OH] \times Cl_y[SO_4]z$ (混合ハロゲン化物C 0 1 F 7 / 4 8) [2 0 2 2 . 0 1]
7/788	・ ・ アルミニウムアンモニウムふっ化物、例、ヘキサフルオロアルミン酸アンモニウム[2 0 2 2 . 0 1]
11/00	カルシウム、ストロンチウム又はバリウム化合物 (C 0 1 F 7 / 0 0 が優先) [3]
11/02	・ 酸化物または水酸化物 (石灰の製造C 0 4 B 2 / 0 0)
11/04	・ ・ 熱分解によるもの
11/06	・ ・ ・ 炭酸塩の
11/08	・ ・ 硫酸塩の還元によるもの
11/10	・ ・ 硫化物からのもの
11/12	・ ・ けい酸塩からのもの
11/16	・ ・ 精製
11/18	・ 炭酸塩
11/20	・ ハロゲン化物
11/22	・ ・ ふっ化物
11/24	・ ・ 塩化物
11/26	・ ・ ・ 硫化物からのもの
11/28	・ ・ ・ アルカリ土類金属化合物の塩素化によるもの
11/30	・ ・ ・ 濃縮 ; 脱水 ; 吸湿防止および固結防止
11/32	・ ・ ・ 精製
11/34	・ ・ 臭化物
11/36	・ 硝酸塩
11/38	・ ・ 硝酸または酸化窒素による製造
11/40	・ ・ 硝酸塩の複分解による製造
11/42	・ ・ 複塩 (マグネシウム複塩C 0 1 F 5 / 3 8)
11/44	・ ・ 濃縮 ; 結晶化 ; 脱水 ; 吸湿防止および固結防止
11/46	・ 硫酸塩 (石こうの脱水C 0 4 B 1 1 / 0 2)
11/48	・ 亜硫酸塩
13/00	ラジウム化合物
15/00	トリウム化合物
17/00	希土類金属化合物 [2 0 2 0 . 0 1]

注

1 . このサブクラスでは、下記の表現は以下に示す意味で用いる :

“ 希土類金属 ” とは、スカンジウム、イットリウムまたはランタニドのグループの元素で、単体または組合せであるものを意味する。

2 . 化合物をC 0 1 F 1 7 / 2 0 ~ C 0 1 F 1 7 / 3 8 のグループに分類する際、化合物がその調整または処理によって特徴付けられる場合には、その特有の調整または処理もC 0 1 F 1

7 / 1 0 ~ C 0 1 F 1 7 / 1 7 のグループに分類されなければならない。そしてその逆も同様である。

17/10	・ 調整または処理、例、分離または精製[2 0 2 0 . 0 1]
17/13	・ ・ イオン交換樹脂を用いるもの、例、キレート樹脂[2 0 2 0 . 0 1]
17/17	・ ・ 液-液抽出を伴うもの[2 0 2 0 . 0 1]
17/20	・ 金属元素として希土類金属のみ含む化合物[2 0 2 0 . 0 1]
17/206	・ ・ 酸化物または水酸化物が唯一の陰イオンであるもの[2 0 2 0 . 0 1]
17/212	・ ・ ・ スカンジウムの酸化物または水酸化物[2 0 2 0 . 0 1]
17/218	・ ・ ・ イットリウムの酸化物または水酸化物[2 0 2 0 . 0 1]
17/224	・ ・ ・ ランタニドの酸化物または水酸化物[2 0 2 0 . 0 1]
17/229	・ ・ ・ ・ ランタンの酸化物または水酸化物[2 0 2 0 . 0 1]
17/235	・ ・ ・ ・ セリウムの酸化物または水酸化物[2 0 2 0 . 0 1]
17/241	・ ・ ・ 2 以上の希土類金属を含有するもの、例、 $NdPrO_3$ または $LaNdPrO_3$ [2 0 2 0 . 0 1]
17/247	・ 炭酸塩[2 0 2 0 . 0 1]
17/253	・ ・ ハロゲン化物[2 0 2 0 . 0 1]
17/259	・ ・ ・ オキシハロゲン化物[2 0 2 0 . 0 1]
17/265	・ ・ ・ フッ化物[2 0 2 0 . 0 1]
17/271	・ ・ ・ 塩化物[2 0 2 0 . 0 1]
17/276	・ 硝酸塩[2 0 2 0 . 0 1]
17/282	・ 硫酸塩[2 0 2 0 . 0 1]
17/288	・ 硫化物[2 0 2 0 . 0 1]
17/294	・ ・ ・ オキシ硫化物[2 0 2 0 . 0 1]
17/30	・ 希土類金属および希土類金属、酸素または水素以外の少なくとも1つの元素を含む化合物、例、 $La_4S_3Br_6$ (C 0 1 F 1 7 / 2 4 7 ~ C 0 1 F 1 7 / 2 9 4 が優先) [2 0 2 0 . 0 1]
17/32	・ ・ 酸化物または水酸化物が唯一の陰イオンであるもの、例、 $NaCeO_2$ または $MgxCa_yEuO$ [2 0 2 0 . 0 1]
17/34	・ ・ ・ アルミン酸塩、例、 $YAlO_3$ または $Y_3-XGdxAl_5O_{12}$ [2 0 2 0 . 0 1]
17/36	・ ・ ハロゲンが唯一の陰イオンであるもの、例、 $NaYF_4$ [2 0 2 0 . 0 1]
17/38	・ ・ 硫黄が唯一の陰イオンであるもの、例、 $CaLa_2S_4$ [2 0 2 0 . 0 1]